



【希望に胸を膨らませて！～第9回入学式挙行～】

4月に入り暖かな日差しが続き、本校周辺の桜も勢いよく開花しはじめた4月5日（水）、第9回入学式を挙行。今年は、授業時間数確保のため、午前に着任式と始業式、午後に入學式という日程の中、今年も160名の生徒が真新しい制服の袖に手を通し、緊張した面持ちで本校の門をくぐり入学式を迎えた。昨年度も感じたことだが、各クラス担任による呼名に一人ひとりがしっかりと返事をしている姿を見ると、それぞれの生徒が一山を越えた自信、平塚中等生となった誇りが表れているように感じる。今年の新入生代表の言葉を披露した1年5組の宮崎知晴さんは、これからの学校生活で「学年全体で勉強などを教え合い、切磋琢磨して6年間を共に過ごしたい。得意なことを他の友達に教え、苦手なことを教えてもらって学年全体で高めあっていきたい」と抱負を述べた。私からは、設立当初から受け継がれている言葉「君の夢は、君の好奇心が大きくなる」から、得意なことをさらに伸ばし、苦手としていることに勇気を持って挑戦し夢を膨らませて欲しい、夢を叶えるために目標を定め取り組んで欲しい、相手を思いやる気持ち「真心」を持って生活して欲しいと、新入生にエールをおくった。今年、公務多忙の中、県議会議長である森正明様にもご臨席を賜り、9年目を迎えた本校の様子などを見ていただいた。また、同窓会からは、昨年度に引き続き、1期生で会長の石原玲奈さんにもお越しいただき、かわいい後輩の支援をお願いした。来年は、いよいよ本校も10年目を迎える節目の年となる。これまで本校で大切にしてきた「Live Love Learn～生きる 慈しむ 学ぶ～」の教育理念を再確認し、セカンドステージに突入した今、多彩で豊かな教育活動を展開しながら、生徒一人ひとりの成長を後押ししていきたい。



【ようこそ！平塚中等へ！～対面式・翠星祭体育部門ブロック抽選会開催～】

4月6日（木）、対面式を体育館にて開催。2年生から6年生の間を入场してくる1年生に対して、上級生から温かい拍手の出迎えがあった。生徒会本部による「赤頭巾ちゃん」にちなんだ寸劇から始まり、生徒会長の歓迎の言葉、1年生代表の言葉と進むうちに、緊張した面持ちの1年生からは笑みがこぼれ始めた。この瞬間に6学年揃って平成29年度のスタートとなった。対面式終了後には、翠星祭体育部門のブロック抽選会。6年次生が最後にリーダーシップを発揮する行事である。今から5年前に上級生に迎えられた4期生も、あっという間に最上級生となった感があるだろう。1年生同様に、何とも言いがたい気持ちになったに違いない。各学年、年次によって感じ方や捉え方に違いはあれど、平塚中等生が一つにまとまり、今年度も学校をさらに盛り上げ、大切な仲間をより大切にしながら自分の可能性を広げて欲しい。今年も素晴らしい1年となるよう力を合わせて取り組もう！



対面式、翠星祭体育部門抽選会にて